

コンビ ネイチャーアースEG

NQR-549

取扱説明書

品質保証書付

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書は大切に保管してください。取りはずしてある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。



安全基準 A 型
(2ヵ月～2才まで)

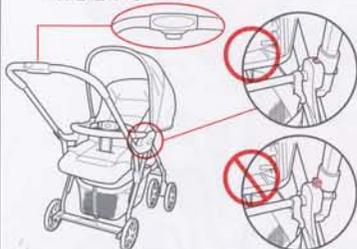
目次	●ご使用前に……………1	●足カバーの使いかた……………9
	●安全にお使いいただくために	●シートベルトの使いかた(股ベルト・腰ベルトの調整)…10
	△警告……………1	●シートおよびエッグショックパッドの取り扱いかた…10
	△注意……………3	●日除けの使いかた……………11
	●各部のなまえ……………4	●エアスルーシステム(通気窓付き日除け)の使いかた…11
	●本体の開きかた……………5	●サイドポケットの使いかた……………11
	●座席の向きの変えかた……………6	●本体の折りたたみかた……………12
	●買い物カゴの使いかた……………6	●保管のしかた……………12
	●リクライニングの使いかた……………7	●日常のお手入れ……………13
	●キャスターの使いかた……………7	●点検とアフターサービスについて……………13
	●ストッパーの使いかた……………7	●品質保証書……………14
	●フロントガードの使いかた……………8	●SGマークの被害者救済制度……………14
	●足のせの使いかた……………9	●オプション品(別売り)……………15

ご使用の前に

- この製品は、一般家庭で乳幼児を乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車（ベビーカー）です。
- 対象年齢:生後2ヵ月以上満2才まで
- 望ましい連続使用時間:2時間以内
- 組み立てる前に、14ページ「品質保証書」に次の項目を記入してください。
- ①ロットNo.（背もたれ後側に貼ってあるシールに記載されています。）
- ②お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③販売店名

乳幼児が落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- 開閉ロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。



- ロックがかかっている
開閉ロックが下がって
間に空きがない

- ロックがかかっていない
開閉ロックが上がって
間に空きがある

- 階段、エスカレーター、段差のあるところ、また、砂場/砂浜/河原/ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。



- 乳幼児を乗せたままフロントガードを持つなどしてベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりするおそれがあります。



- 破損/異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社お客様相談室にご連絡ください。



安全にお使いいただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者の方が重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いの結果生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

⚠ 警告 取り扱いを誤ると重大な

乳幼児が落ちるおそれがあります。

- 股ベルト・腰ベルトを必ず締めて使用してください。



- 車体から取り外した座席は、座席単体で乳幼児用の椅子やキャリーとして使用しないでください。破損や、乳幼児が思わぬけがをするおそれがあります。



- 乳幼児を乗せたまま、座席の着脱はしないでください。転倒や落下のおそれがあります。



- 乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。



警告 誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

注意 誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

 警告 / 注意を促す内容があることを告げるものです。

 禁止の行為であることを告げるものです。

事故につながるおそれがあります。

ベビーカーが転倒して乳幼児が落ちるおそれがあります。

●乳幼児を乗せているとき、カゴ以外の所に荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。



●ベビーカーに同時に2人以上の乳幼児を乗せたり、乳幼児をシート以外の所に乗せないでください。



●ご使用中にハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけないでください。



ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

●乳幼児や荷物を乗せたときには、ストッパーを過信しないでください。



●乳幼児を乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。



●ベビーカーは空車であっても坂の途中 / 車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



安全にお使いいただくために

⚠ 注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

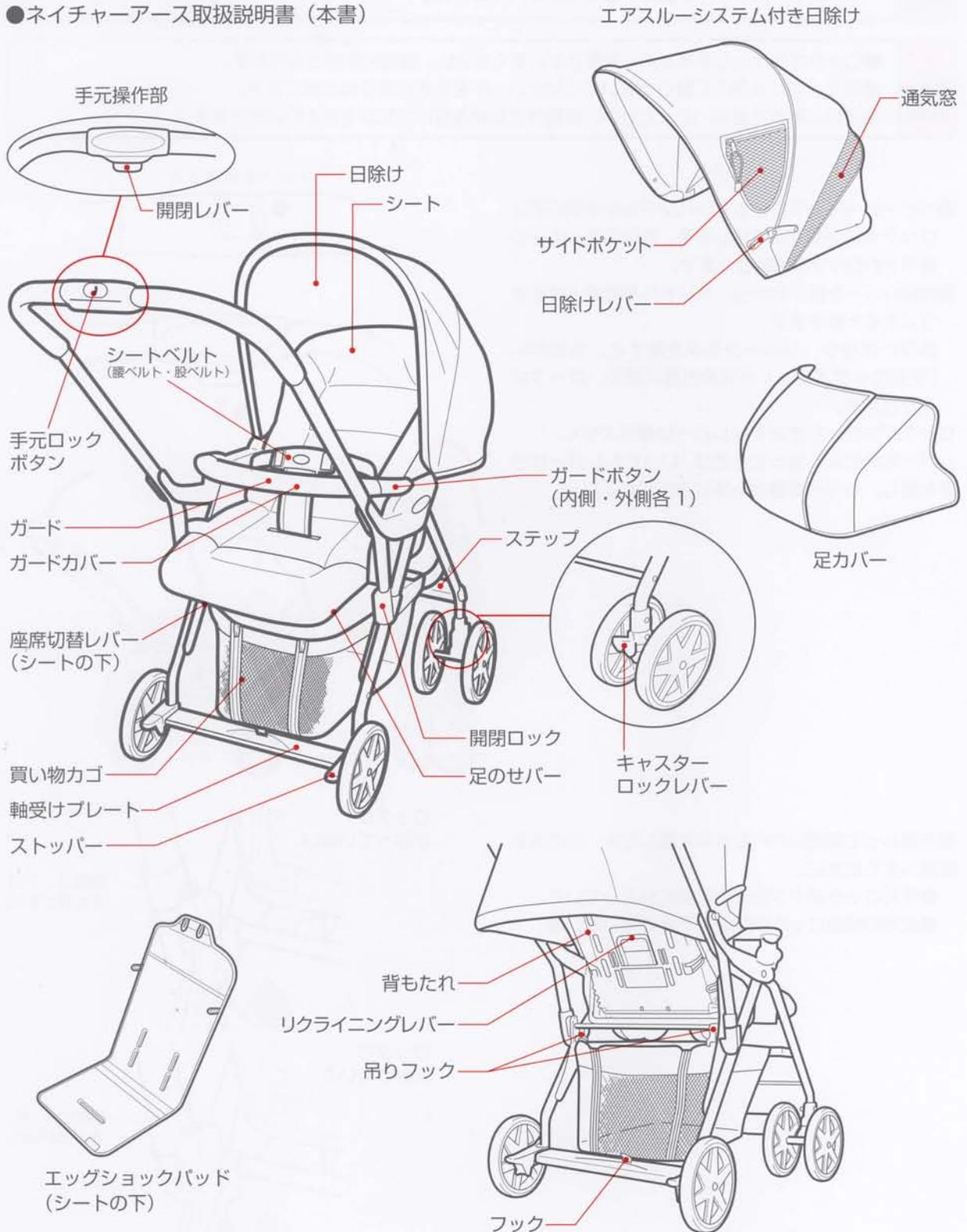
- シートを取りはずしたまま乳幼児を乗せないでください。
すき間に手や足などをはさむおそれがあります。
- 幼児、子供にベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながります。
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には、他人や小さい子供を近づけずに行ってください。
指をはさんだりするおそれがあります。
- 乳幼児の乗車時はもちろん空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。
ベビーカーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべって落下するおそれがあります。
- フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損のおそれがあります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また必要以上に広げたりしないでください。
- 乳幼児を乗せる以外の目的で使用しないでください。
目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- 乳幼児を乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。乳幼児が抜けだしたり、落下するおそれがあります。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは歩いてください。
走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- 買い物カゴには5kg以上の荷物を入れしないでください。破損の原因となります。
- 踏切を渡るときは、できるだけ線路に直角に進んでください。
ななめに渡ると車輪をとられたり、線路の溝に車輪がはさまるおそれがあります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。
ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときには使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。
故障や変形の原因となります。
- 危険ですからむやみに改造、分解をしないでください。
- ご使用前に、ネジやナットにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社お客様相談室にご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- ベビーカーの使用時、お子さまが手を出したりすることがあります。ベビーカーから手を出したまま使用しますと、手や指をはさんだり、何かに触れたり思わぬ怪我の原因になります。
- 電車などでの使用について
本製品は電車などでの使用を目的として設計されたものではありません。
電車などの中ではできるだけ、ベビーカーを折りたたんでいただくことをおすすめします。
本製品を電車などの中で使用するときは、急発進や急停車などの衝撃のおそれがありますので、十分ご注意ください。
- カーブを曲がる時は、体全体を使い大きくゆっくりと操作することをおすすめします。
手首を使い急激に曲がる操作をくり返すと、手首を痛めることがあります。

(開封されましたら、部品がそろっているかご確認ください。)

各部のなまえ

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたら全て揃っているか確認してください。

- ネイチャーアース本体
- ネイチャーアース取扱説明書 (本書)



本体の開きかた

警告 ●開閉ロックを解除したまま使用しないでください。無意識にレバーを握ったときなど、急に折りたたまれたり、ハンドルが動いてしまうおそれがあります。

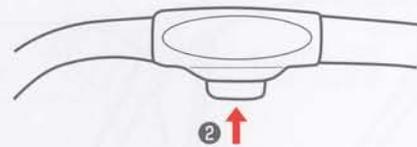
注意 ●ロックがかかったままレバーを握らないでください。故障の原因となります。
●開くときには他人に触らせないでください。手をはさむおそれがあります。
●子供に操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

①ベビーカーの後ろに立って、ハンドル中央部の手元ロックボタンを右にずらします。赤いステッカーが表示されロックが解除されます。

②開閉レバーを握りながら、ハンドルを持ち上げるようにすると開きます。

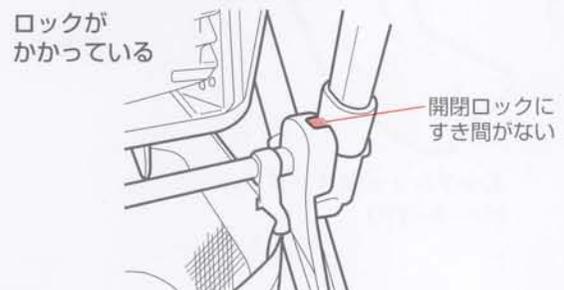
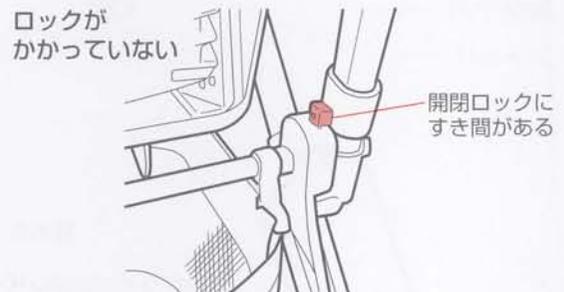
操作が終わり、レバーから手を離すと、自動的に「手元ロックボタン」が元の位置に戻り、ロックがかかります。

ロックがかかったままではレバーは握れません。レバーを間違えて握ったときは、いったんレバーから手を離し、もう一度①からはじめてください。



開き終わって開閉レバーから手を離した後、次の点を確認してください。

- 手元ロックボタンが元の位置にもどっている。
- 左右の開閉ロックが完全に下まで降りている。



座席の向きの変えかた

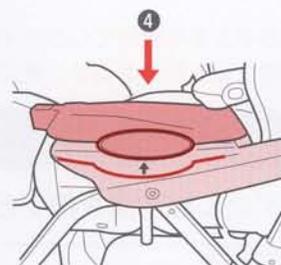
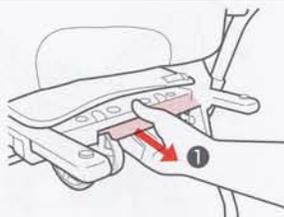
座席の向きを変えて、ママの顔が見える対面と景色がよく見える背面に切り替えられます。



警告

- 乳幼児を乗せたまま、座席の着脱はしないでください。転倒や落下のおそれがあります。
- 車体から取りはずした座席は、座席単体で乳幼児用の椅子やキャリーとして使用しないでください。破損や、乳幼児が思わぬけがをするおそれがあります。

- ①座席前端下の座席切替レバーを引きます。
- ②座席切替レバーを引いたまま、座席を持ち上げます。
※乳幼児を乗せたまま、座席を持ち上げないでください。
※もう片方の手は、背側を持って支えてください。
- ③座席の向きを変えます。
- ④車体側左右のアームレスト矢印に座面左右のプレートの中心を合わせます。
- ⑤座席左右のアームレストを真上から強く押して車体に取り付けます。
- ⑥座席と車体が確実に取り付けられたか、座席を持ち上げるなどして確認します。



注意: 座席の向きを変えるときアームレストに指をかけて取り付けますと指をはさむおそれがあります。取り付けのときは十分ご注意ください。

買い物カゴの使いかた

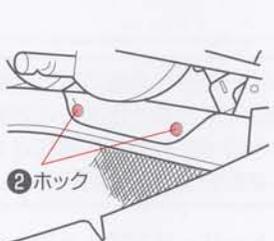


注意

- 5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- 角のとがったものはのせないでください。カゴ底部の破れの原因となります。

取り付けかた

- ①座面下のカゴ取り付けフレームにカゴ上端を巻き付けます。
- ②フック(左右計4カ所)を合わせます。
吊りフックを車体側のステーにかけます。
- ③フックを車体の軸受けプレートに差し込みます。
荷物の出し入れには、カゴ後部のファスナーを開けると便利です。



取りはずしかた

取り付けかたの逆の手順です。

荷物について

できるだけカゴ底に均等に荷重が加わるようにのせてください。リクライニング操作に支障のない高さにしてください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になりますから、折りたたむときには荷物を取り出すか、買い物カゴごと取りはずしてください。

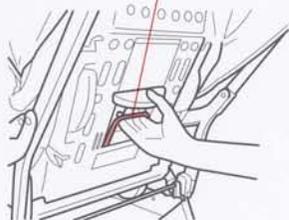
リクライニングの使いかた



●危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。

リクライニングレバーを引きながら、背もたれの角度を変えます。角度調節は3段階です。

リクライニングレバー



注意: 背面で折たたむときは、背面をイラストの位置まで倒します。



お子さまを乗せてリクライニングを操作をするときは、できるだけゆっくり静かに行ってください。特に背もたれを倒すときには、急に角度が変わらないように十分ご注意ください。

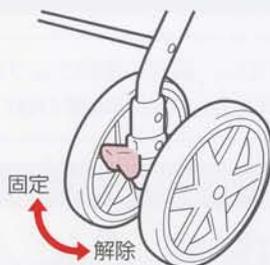
キャスターの使いかた

平坦な路面を押すとき、前輪の向きが変わり、方向転換がしやすくなります。



●キャスターを固定する位置を間違えて使用すると、押しづらだけでなく故障の原因となります。必ず正しい位置で固定してください。

キャスターロックレバーを下げ、ロックを解除します。



ストッパーの使いかた



●お子さまや荷物を乗せたときには、ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけたまま動き出したり、転倒するおそれがあります。
●お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。



●空車であってもベビーカーから離れるときは、必ず左右ともストッパーをかけてください。ストッパーが不完全ですと動き出すことがあります。
●ストッパーは走行中のベビーカーを停止させるためには使用しないでください。また、ストッパーを固定の状態で行きしないでください。破損の原因になります。

- 左右の後輪の内側にあるストッパーを下げるとストッパーのロックがかかります。ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーが正しくかかっているか確認してください。
- 解除するときはストッパーを上げてください。



フロントガードの使いかた

フロントガードを開くとお子さまの足が引っかからず、乗せ降ろしが楽にできます。



警告

- フロントガードに関係なくお子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードは抜け出しや立ち上がりを防ぐものではありません。
- フロントガードをつかんで持ち運ぶことは、お子さまを乗せているときはもちろん、空車のときであっても避けてください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりすると危険です。



注意

- フロントガードが確実に取り付けられたか必ず確認してください。
- お子さまの乗せ降ろし時以外は、必ずフロントガードは閉じてください。すき間に手を入れると危険です。また、破損の原因ともなります。
- フロントガードが確実にロックされたか必ず確認してください。ロックが不完全ですと使用中に開いてしまうおそれがあります。

フロントガードの取り付けかた

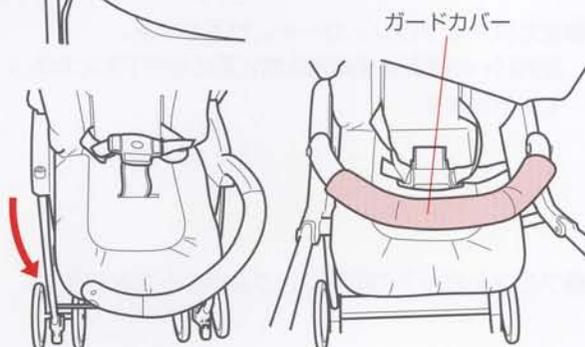
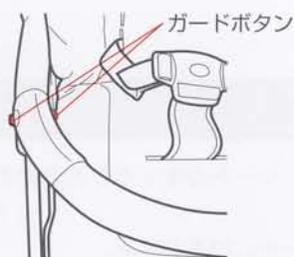
- 正面から見て「C●MBI●●●」の文字が正しく見えるようにアームレスト先端の突起に差し込みます。確実に固定されたか引っぱって確認してください。

フロントガードの取りはずしかた

- フロントガード端の外側と内側2つのガードボタンを同時に押し、アームレストからフロントガードを引き抜きます。

ガードカバーの取り付けかた

- 正面から見て「C●MBI●●●」の文字が正しく見えるようにフロントガードにガードカバーを通します。

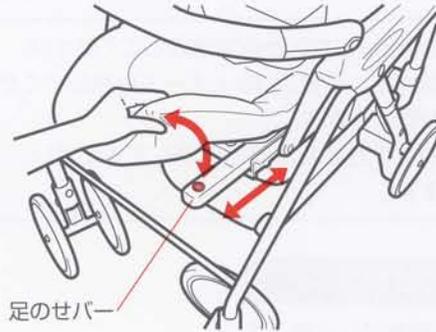


足のせの使いかた

足のせを出していると、お子さまが寝たとき、楽な姿勢で眠れます。

使用するときは、シートを持ち上げ、座面にある足のせバーを前端で止まるまで引き出します。シートをのせ必ずホックをとめます。

使用しないときは、シートのホックをはずし、足のせバーを座面の中に押し込みます。



足カバーの使いかた

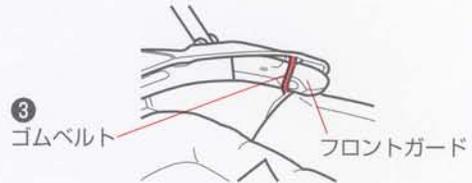
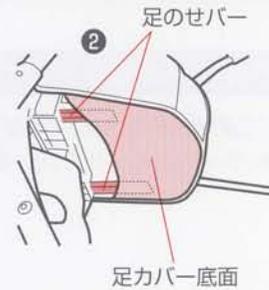
①足のせバーを引き出し、シートのホックをとめます。

②足カバーをフロントガードにかぶせます。
足カバーの底面は使用時は常に足のせの下側になるよう
セットします。

③フロントガードの両端に、ゴムベルトをかけます。

④足カバー両側面のホックと座席のホックをとめます。

●乗せおろしのときは足カバーをはずせばフロントガード
を開くことができます。



シートベルトの使いかた（股ベルト・腰ベルトの調節）

ここでは、股ベルトと腰ベルトを合わせてシートベルトと呼びます。

お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。

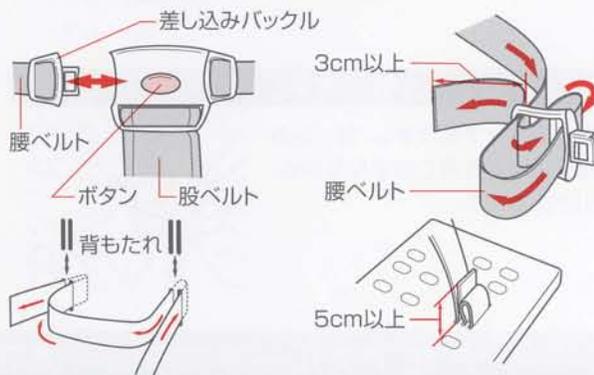
また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりに対しては十分注意してください。

- 警告**
- お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せるとお子さまが落ちるおそれがあります。
 - できるだけたるみを取って、しっかりと締めてください。

- 注意**
- ベビーカーを開くときは他の人に触らせないでください。手をはさむ原因となります。
 - 子供にベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 図の○部のボタンを押すと左右の差し込みバックルがはずれます。シートベルトを締めるときは股ベルトのバックルに左右の差し込みバックルを確実に差し込んでください。また腰ベルトを引っぱってはずれないか確認してください。

- 長さ調整のときに差し込みバックルを取りはずした場合は、右図のとおり確実に取り付けてください。



シートおよびエッグショックパッドの取り扱いかた

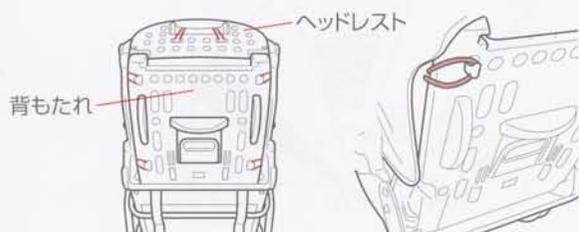
エッグショックパッドは、段差などによる衝撃をやわらげ、走行中の揺れからお子さまを守ります。

また、お子さまの汗や湿気を吸収し、シートを快適な湿度に調節します。

- 注意**
- シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
 - やぶれやほつれの発生したシートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
 - シートを取り付けの際に、ゴムベルト、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですとケガや破れなどのおそれがあります。

シートおよびエッグショックパッドの取りはずしかた

- ① 足のせバーを使っているときには、シート前端のホックをはずします。
- ② 背もたれ後ろ側のフックにかけてある左右6カ所のゴムベルトをはずします。
- ③ シートベルトをベルト通し穴から抜き取ればシートは取りはずせます。バックルやホックが通し穴に引っかかることがありますので、丁寧に扱ってください。
- ④ エッグショックパッドは、シートベルトを抜き取り、背板とヘッドレスト4カ所のゴムベルトをはずします。



シートおよびエッグショックパッドの取り付けかた

- ① 背もたれをいちばん寝かせた状態にして、エッグショックパッドを乗せ、腰ベルトと股ベルトを通し、ゴムベルトを背板とヘッドレストのフックにかけます。
- ② シートを乗せ、腰ベルトと股ベルトを通します。
- ③ 背もたれを起こし、左右6本のゴムベルトを裏側の両側面4カ所のフックにかけます。
- ④ シートは洗濯機で丸洗いができます。洗濯方法は13ページをご覧ください。

注意：「エッグショックパッド」は洗濯できません。

エッグショックパッドは、梅雨時期などの湿度が高い時期には日照時間干して乾燥させてください。くり返し使用できます。

エッグショックパッドを使用するときは必ずシートの下に敷き、ゴムベルトをとめてください。

日除けの使いかた



注意

- 保管の際には、日除けの変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を重ねたりしないでください。また、高温になる場所での保管もおやめください。



取り付けかた

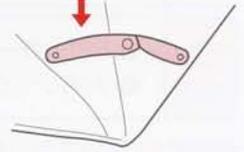
日除けの差し込み部分を、アームレスト後端の穴に差し込みます。ツメがかかって固定されます。



アームレスト

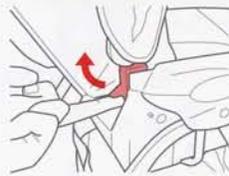
広げかた

前2本のステー（中骨）を持ってひろげ、左右の日除けレバーの関節部を押し下げロックします。



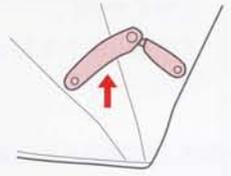
取りはずしかた

後ろのホックをはずし、差し込み部分のツメを指ではずしながら、引き抜きます。



たたみかた

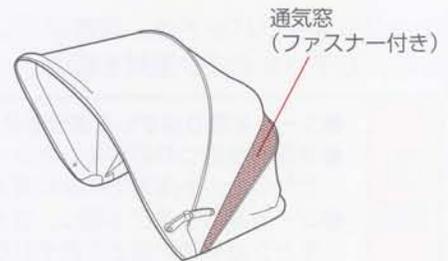
日除けレバーの関節部を下から押し上げてから、たたみます。日よけをたたむとき、大きな音がしますが、使用上問題はありません。



エアスルーシステム（通気窓付き日除け）の使いかた

日除けは、エアスルーシステムになります。

通気窓は幌後部のファスナーの開閉により、取り出しと収納ができます。



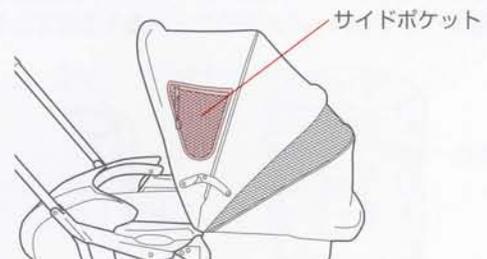
サイドポケットの使いかた



警告

- サイドポケットには200gを越えるもの、飲料水などの水分を含むもの、ナイフなど角のついたもの、ライターなど発火のおそれのあるものは入れないでください。

サイドポケット（片側）が付きます。ポケットティッシュやミニタオルなど（200g以下）を入れることができます。



本体の折りたたみかた



注意

- 手元ロックボタンと開閉ロックがかかっていないときはそのまま持ち運ばないでください。急に開いてしまうおそれがあります。
- 引っかかりや、はさみ込みなどを感じたら、いったん開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 本体を折りたたむときは、必ずキャスターを正しい位置で固定してください。正しく固定されないまま折りたたむと、本体やタイヤなどの変形の原因になります。

折りたたむ前に下記の操作を行ってください。

背面状態のとき

- 1 シートベルトのバックルをとめてください。(10ページをご参照ください)
- 2 キャスターを固定します。(7ページをご参照ください)
- 3 フロントガードを閉じてください。(8ページをご参照ください)
- 4 日除けを座面側へたたみます。(11ページをご参照ください)
- 5 背もたれを、座面側へ倒します。(7ページをご参照ください)

4 日除けをたたむ

5 背もたれを倒す



2 キャスターを固定する

- 6 ベビーカーの後ろに立って、ハンドル中央部の手元ロックボタンを右にずらしします。赤いステッカーが表示されます。
- 7 開閉レバーを握り、ハンドルを前方向に軽く持ち上げるようにしながら、後輪を支点にして前輪を後輪に引き寄せるようにすると折りたためます。フルリクライニングさせて折たたむときは、前輪を支点にすると楽にたためます。

6 ロックを解除する



対面状態のとき

- 1 シートベルトのバックルをとめてください。(10ページをご参照ください)
- 2 キャスターを固定します。(7ページをご参照ください)
- 3 フロントガードを閉じてください。(8ページをご参照ください)
- 4 日除けを座面側へたたみます。(11ページをご参照ください)
- 5 背もたれを、座面側へ倒すか、フルリクライニングにします。(7ページをご参照ください)

注意：背もたれを倒しこむ前に、日よけをたたんでください。順序が逆ですと車のトランクなどへ収納する際、荷重で日よけが変型する原因になります。

4 日除けをたたむ

5 背もたれを倒す

2 キャスターを固定する



注意：対面で折りたたむとき、リクライニングの位置を一番立てたまま折りたたみますと、ハンドルを握った手にヘッドレストが当たります。折りたたむ前に、必ずリクライニング操作をしてください。

スムーズに折りたためないときは、車体にシートやシートベルトなどがはさみ込まれていることが考えられます。無理に力を加えず、いったん開き、はさみ込んでいる物はずしてください。開閉レバーから手を離れた後、手元ロックボタンが元の位置に戻っているか（開かない状態になっているか）をハンドルを持ち上げて確認してください。

保管のしかた



注意

- 火の近くや夏期の車内など高温になる場所での保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- 荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりのかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
- 車のトランクなどに収納する場合は、背面状態で折りたたむとコンパクトになります。

日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

●シートの洗濯

洗濯機で丸洗いができますが、以下の点にご注意ください。シートの取りはずしかたは10ページをご覧ください。

- 40℃以下の液温で、弱水流で洗ってください。
 - 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
 - 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
 - 十分すすぎ、軽く脱水した後、形を整えて平干ししてください。
 - 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- #### ●日除け、股ベルト、腰ベルト、ガードカバー、足カバーの洗濯
- 40℃以下の液温で、ブラシ又はスポンジで軽く洗ってください。
 - 十分にすすいだ後、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

エッグショックパッドについて

エッグショックパッドは衝撃を吸収するだけでなくお子さまの汗や湿気を吸収し、シートを快適な湿度に調節します。防ダニ、防カビ、脱臭に効果があります。梅雨時期などの湿度が高い時期には、日照時に干して乾燥させてください。吸湿能力が回復しくり返し使用できます。

注意：「エッグショックパッド」は洗濯できません。

車体の清掃について



注意

●車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

- 車輪やプラスチック部品および金属の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布で数回ふき取り、洗剤分が残らないようにします。

注油について



注意

●お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

- さしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を少量お使いください。多すぎるとほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。注油する部分の泥や汚れはあらかじめよくふき取ってください。

※下のイラストの部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



点検とアフターサービスについて

- ご使用中に車体の破損、異常、ネジのゆるみやシートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、直ちに使用を中止して当社お客様相談室にご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、背もたれ後側に貼ってあるシールをご覧ください。

お客様相談室 〒339-0025 埼玉県岩槻市釣上新田271

TEL.(048)797-1000 FAX.(048)798-6109

(西日本担当) 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2-1-10

TEL.(06)6263-4031 FAX.(06)6263-4533

- ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
- 危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。
- お手入れの際に取りはずした商品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。
- 本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。